



▲出初式での訓練のようす

12月定例会

24年度補正予算 未来の子どもたちのために	2~3
志免町歴史資料館建設審議会 設置条例の制定	否決 4
委員会研修…先進地から学ぶ	16~17

わが町のきらっとさん!

志免町商工会女性部の活動を紹介します。



EM菌散布(御手洗池)

志免町商工会では糟屋管内女性部合同で「地球にやさしい環境づくり」をテーマにマイバック運動や割り箸リサイクル運動を行なっております。

また平成15年には糟屋管内女性部の若手後継者育成事業としてEM普及研修会を開催し、平成16年には「粕屋EMインストラクター養成講座」に参加し当会からも5名のインストラクターが誕生されました。



クリーン作戦

まちをきれいに

商工会では女性部常任委員会で活動内容を話し合い、志免町長に訪れ説明、そして上記委員会においてEM発酵液作り、また、町の文化祭に合わせて行なっている商工会祭りにおいてEM発酵液を配布しております。平成16年より町の許可を得て桜丘の御手洗池に2カ月に一度EM活性液を散布。これまでに延べ58回9300ℓを散布されました。

お知らせ

議員の寄附は禁止されています。

入園・入学・結婚・出産・饞別などの寄附はできません。

DVDを貸し出します!

町議会を撮影したDVDを貸し出します。議会初日と最終日および一般質問をDVDに収録しています。希望される方は、図書館・役場4階の議会事務局にお越しください。

お知らせ

次回の定例会は3月8日より

傍聴に是非お越しく下さい。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。是非お越しく下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。
 TEL 935-1001 FAX 935-7070
 議会事務局は町役場4階です
 メールアドレス:gikai@town.shime.lg.jp

平成24年度一般会 未来の子ども

3億9,418万3千円増

賛成多数で可決(賛成12人・反対1人) 賛成 川崎・安河内・吉田・

学校教育課事業

・小学校教材備品購入費

各小学校とも来年度は1学級の増となり、備品購入

159万2千円

・給食消耗品費・給食備品購入費(小学校費)

給食食器等準備として

220万5千円

給食備品購入費

1,123万円

・中学校教材備品購入費

クラス増、老朽化による備品購入

125万5千円



法人格取得の空とぶくじら幼稚園

県支出金1億1093万1千円
町一般財源から1386万7千円

空とぶくじら幼稚園が新たに法人格を取
得し、平成26年4月開園予定の仮称(志免
さくら保育園)建設への補助金
内訳は

1億2479万8千円
保育所等整備事業費
補助金

計補正予算(第4号)

たちのために

総額115億3,542万8千円

堤・大熊・助村・丸山・池邊・牛房・大西・古庄・二宮 反対 末藤

第4回 定例会

12月定例会は、7日から18日までの12日間の会期で開かれました。継続審査になっていました志免町歴史資料館建設審議会設置条例は否決。議案18件を可決しました。一般質問は12月10日・11日の2日間8人が行いました。

電算システム

改修業務委託料

218万6千円

国民年金関係と障害者に対する支援法の改正による。

障害者自立支援医療費

1000万円

適用病院の追加による給付件数増による。

障害者自立支援給付費

5559万9千円

事業所開所と利用者増等による。
国・県支出金4079万4千円
町一般財源1480万5千円

片峰山緑地用地購入費

334万9千円

面積394.2m×8500m

農業用水門整備事業

960万円

迎田地内と南里小柳地内水門設置工事

800万円

吉原・深町地内水門補修工事

160万円



吉原・深町地内水門補修工事

平成24年度特別

会計補正予算

国民健康保険	2,800万8千円増	総額46億9,033万5千円 (全員賛成)
後期高齢者医療	25万9千円減	総額4億4,378万3千円 (賛成多数)賛成12:反対1

流域関連公共 下水道事業	524万1千円減	事業費9億3,799万2千円 (全員賛成)
水道事業	47万4千円増	事業費8億565万5千円 (全員賛成)

条例

志免町保育所設置条例の一部改正

志免町立志免保育園を平成25年4月1日から民営化するため同園を廃止するので、志免保育園の項を削る。

平成25年4月1日施行

賛成多数で可決

障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の制定

- 一、審査会の委員の定数を定めるもの
- 二、報酬及び費用弁償に関するもの
- 三、重度障害者医療費の支給に関するもの
- 四、公務災害補償等に関するもの

平成26年4月1日施行

全員賛成で可決

志免町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

水道法の一部が改正されたことに伴い、条例を制定するもの。
公布の日から施行

全員賛成で可決

主な議案

専決処分承認を求める

平成24年12月16日執行の第46回衆議院総選挙及び第22回最高裁判所裁判官国民審査のための補正予算。町議会を招集する時間的余裕がなかったため。予算は862万6千円。

全員賛成で可決

工事請負契約の締結

防災行政無線固定局デジタル化更新工事。契約金額は、1億6485万円（税込み）
※入札予定価格の89・59%。
契約の相手扶桑電通（株）九州支店

全員賛成で可決

福岡県市町村災害共済基金組合規約の変更

基金組合の解散に伴い福津市が事務を継承する。

全員賛成で可決

福岡県市町村災害共済基金組合の解散

近年、国の災害に対する財政支援処置が充実されたため、組合を解散する。

全員賛成で可決

福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分

組合を構成する市町村に返還される志免町の財産。普通納付金の分（2億194万円）
任意納付金の分（4億7497万円）

全員賛成で可決

継続審査となっていた

志免町歴史資料館建設審議会設置条例の制定について

反対多数で否決 (賛成4:反対9)

賛成 大熊・丸山・池邊・古庄
反対 川崎・安河内・吉田・堤・助村・牛房・大西・二宮・末藤

反対討論

歴史資料館建設審議会設置条例制定について、委員の中に地域の特産品等の情報を発信する商工会、町や地域への愛着や誇りが持てる子どもたちを育てる教育関係者が含まれていない。これでは建てる側の自己満足に終わり、住民はワクワクしません。堅抗櫓保存管理計画も包含し、建設に向けてのプロセスを踏むには期間が短期で反対。

堤議員

末藤議員

消費税増税等により町の税収も大幅に落ち込むことが懸念される。又大牟田RDF有明ニュータウンでは赤字の累積と解体費用の負担等も明らかになっていない。篠栗町クリーンパークの解体費用及び時期の焼却場建設、また堅抗櫓の保存費用も明らかではない。見通しも展望もない中、住民の意見はどこで聞くのか、今歴史資料館が必要か。

助村議員

本条例は歴史資料館の建設を目的とするもので、建設ありきの審議会である。これまで行財政改革を進めてきた現在、多額の費用をかけ、なぜ今歴史資料館を建設しなければならないのか。災害に備えて

の公共施設の耐震化や老朽化した橋梁の改修・保全を今から行わなければならない。箱物を造る前にもっと優先すべき施策がある。

賛成討論

古庄議員

この審議会設置条例提案は、執行権者の権利でありその概要も解らないのに今の段階で賛成も反対もできない。
私は基本的に賛成です。その概要や基本になる考え方も姿も何も無しでは町民に何を問えるのか、審議会を立ち上げ、行政が政策を煮詰めていく過程の入り口である段階で否定否決するということは執行権の侵害である。

丸山議員

堅抗櫓周辺に歴史資料館的な物を作るのはニーズに沿っている。町の活性化につながる施設内容を答申すればと期待。
重要文化財の堅抗が新たに建設される歴史資料館がセットとなつて住民も協働で支える体制を作り、商工会とも官民協働で町の発展につながるしてほしい。議会も執行部に求めるだけでなく、住民参画を得ながら調査研究を。

継続審査付託の総務文教常任委員会

反対多数で否決 (賛成1:反対5)

担当課に糟屋地区資料館調査票の提出を求め、来館者数・維持費・財源等について審査収蔵・文化財の保存状況など調査し慎重審査の結果否決となった。

※志免町歴史資料館建設審議会設置条文は、議会だより第65号をご覧ください。

委員会報告
(調査・研究)

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

知っていますか！まちづくり活動団体への助成制度

協働のまちづくり助成制度

住民活動団体育成制度支援助成は、自主的・主体的に住民活動を始めた初期段階の住民団体に助成するもので一団体から応募があり公布を決定
※3年間毎年5万円を助成
協働事業提案制度は、自主的・主体的に活動を行う住民団体と行政が、長所を活かし対等な立場で課題を解決するべく実施する協働事業を提案する制度。
今回1団体から応募があったが不採用となった。
※事業に掛かる費用の2分の1の助成で、上限30万円
本来は行政が行うべきものを協働で実施するのに、費用の半分以上を町民に負担させる仕

新たな保育ママ制度は難しい

待機児童解消に向け、保育ママ制度について町内4私立幼稚園を訪問し相談。どの幼稚園でもここ数年定員を超えている状況であり、18時までの延長お預かり、長期休暇中の預かりも行い、すでに保育機能を果たしている。
新たな保育ママ制度は難しい現状である。

学校と連携し危険箇所点検

通学路の環境整備については、京都府亀岡市等の事故後国を挙げて取り組まれている。町でも学校と連携した危険箇所を点検。
小中学校合わせて12箇所を改善整備する意向だが、危険箇所を全て掌握し、優先順位をつけて整備すべきと要請。通学路問題を地域全体で共有し、交通安全教育を日頃から行うことが大事と提言。



通学路

平成24年第4回定例会について協議を行った。会期は12月7日から18日までの12日間。
一般質問は8人より提出があり、10日、11日の2日間。
14議案が提案され、総務文教・厚生建設・予算それぞれの常任委員会に付託。請願・陳情・意見書の提出はなし。
地方自治法の一部改正に伴う、議会会議規則等の改正議案を最終日に議員提案で上程。
改正事項の説明を17日全員協議会で行う。

志免炭鉱ボタ山対策特別委員会

ボタ山開発を具体的に進めるランドデザイン策定業務内容と委託費用、各町の費用負担について、11月21日に行われたボタ山開発プロジェクトチームで協議。

委託する業務内容は、整備内容の委託・基本構想図の作成、財産事業費の算出。委託に係る費用は約150万円の見込。

志免・須恵・粕屋3町で均等に負担することを同意した。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

11月8日宇美町にて、宇美・須恵・志免町合同会議が開催された。

1.3町の業務システム再構築事業及び被災者支援システム等について3町ともほぼ完成。県による公共施設の防災拠点化を目標にして、支援システムは計画ができ次第検討。

2.須恵町とのコミュニティバス乗り入れは担当委員会に要請を行なった。

3.不登校適応指導教室は広域連携でできないか検討。

4.観光資源については、糟屋中南部広域連携プロジェクトで連携が進んでいる。

水洗化向上の推進

下水道事業の経営

下水道に関するアンケート調査が行われる。内容は未接続世帯の実態調査、普及促進活動により、下水道接続率の向上を図るもの。アンケートの結果を生かし水洗化の向上につなげるよう取り組むべきと要請。



アンケート調査

厚生建設常任委員会

上水道事業

漏水修理3件の報告を受けた。どれも住民の通報でわかったもので、毎年発生している原因や、水道工事に對するチェック体制、技術向上のための講習の実施などを要請した。

ゴミ減量とリサイクル

大牟田のリサイクル発電所については、運営委員会で結論が出される予定となっている。委員会の意見として、平成29年までの期限を逆算すると、25年度には、クリーンパークわかすぎの継続について方向性を決める必要があるとの提言もある。

内水対策について

工事が完了した志免田富地区道路冠水対策工事は、下流の志免城戸地区の冠水軽減にもつながっており、住民へ、その情報を伝えてほしいと提言。

医療制度改革と健康づくり

65歳以上のがん検診の自己負担金は現行では無料。平成25年度から1割負担に見直したいとの行政からの提

案で、引き続き審査した。自分の健康は自分で守るのが前提であり、検査項目を増やすことや啓発に力を入れるなどして、見直しを行なうなど提言し了承した。
1割負担になると、男性で1000円、女性で2100円(全項目を受けた場合)となる。受診率向上には、検診でがんの早期発見、早期治療につながった体験特集等を広報に掲載するよう提言し、実施することとなった。

ズバリ町政を問う

本会議の議事録はホームページで検索できます。図書館・各公民館でも閲覧できます。

公用車を、電気自動車に

答弁／十分、検討の余地はある

吉田 町の公用車は何台あるのか。

総務課長

51台。(消防車を除く)

吉田 その内訳は。

総務課長

軽自動車35台、小型乗用車7台、普通乗用車1台、小型貨物2台、バス4台トラック2台。

吉田 ここ数年で公用車の台数の増減はあったのか。また買い換えの時期や、維持管理費はどうなっているのか。

総務課長

10年前後を目安として買い換え、最近はリース契約に切り替えている。維持費は23年度の決算で、燃料費520万円、バッテリー、タイヤの交換等管理費200万円程度。24年度は3台公用車をリース契約している。

吉田 1台だけでも、電気自動車に替えてみてはどうか。

電気自動車はガソリン車に比べ部品が少なく、オイル交換等の維持費もかからない、燃料費だけでも1台あたり年間10数万円の削減になる。二酸化炭素も排出しない。北九州市ではすでに50台を納入し、土日はカーシェアも始めている。

総務課長

電気自動車のメリットも勘案して、買い換え時期の到来時は十分検討の余地はあると思う。

町長

この様な事態が来るう。色々なメリットがあるが、充電スタンドの整備、車両価格などの課題がある。

電気自動車のカーシェアリングが北九州市で導入されているが、共同で利用することについて非常に難しい点もある。

吉田

電気自動車は「タイヤのついた蓄電池」



町の公用車

未成年者の喫煙対策

答弁／指導を徹底し、対応をする

大熊 タスポが必要なのに、未成年者、中学生がたばこを買い喫煙している。

学校教育課長

未成年者、特に中学生の喫煙は、タスポの導入によって一定の防止効果があっている。本来未成年者が使用できない物を使ってたばこを入手する率は約41%というデータがある。

ただし、タスポを未成年者に貸したり、与えた場合所有権の取り消しで使用できなくなる。

福岡県で実際に15歳の息子に母親が喫煙を知りながら貸し与え、書類送検されたという事案も起きている。

大熊

中学生とわかっているのにタバコを売る店がある。理解できない。

学校教育課長

これについては教育委員会も学校も事案の報告を受けて把握はしている。学校付近の小売販売店において、中学生とわかっているが販売を続け地域の方から情報が学校に入ったようであれば、糟屋署と連携し、その店舗には指導を行っている。

現在も年齢確認が必要で規定に違反すれば検挙され毎年



タスポ

町長

学校任せにするのではなく、町民みんながその事に関心を持つことが必要。今後青少年問題協議会等で少しウェイトを置いて協議してもらおうという要望したい。

中学校では外部から講師を招いて学習を行うなど、指導を徹底している。

教育長

残念ながら保護者の問題として、課題というのも現実的にはある。

学校では、喫煙防止教育として、小学校では高学年の保健で指導。

大熊

早いうちに悪い芽を摘み、大きな犯罪に至らないような対応がいる。

警察庁、財務省及び、厚生労働省において、タバコ小売販売店に対し要請文を含めて通知がされている。



大熊 則雄 議員

職員の地域担当制導入は 答弁／小さな組織では対応できない

堤 職員の地域担当制導入はどのようように検討されているのか。じっと待っても声は上がらないと思う。働きかけは。

地域交流課長

コミュニティの見直しに合わせ、町内会長会議等では、現状ではないので行っていない。

堤 福岡県では、14市4町が導入されている。住民の意見が町政に反映されているという住民は26.8%。

地域担当制の導入で施策の中に反映されると思うが。

町長 例えば防犯・防災・環境美化・健康福祉・子育て等については校区のコミュニティで課題解決を進めるしていくことが必要と思う。今の段階は前に進めるための醸成をする。

堤 まず町内会単位から職員を派遣して、情報を出し、広報していく中で、たくさんあって難しいとなれば、校区単位にしようとなるのでは。東北、阪神・淡路大震災で地域コミュニティがしっかりしている所は犠牲者が少なかったということから、地域担当制をしいて行こうとしている。

町長 環境整備ができ、機運が高まる努力をしたいが、今のような小さな組織では担当性への対応はできない。計画ではその目標を掲げている。

広域連携プロジェクト事業は 答弁／観光ルートは考えていない

堤 かすや中南部地域広域連携プロジェクト事業は25年度からどのような取組みをされているのか。

経営企画課長

24年度までだったが、プロジェクトが運営しているHPとか、各町のHP、また広報誌等を活用したお宝のPR、冊子を増刷してイベントなどで配布するなどPRを推進していく取組みを検討。

堤 これまでの健康・緑・交流の冊子等活用した観光ルートを作った歩いてもらう企画等は考えられているか。

経営企画課長

今のところ考えていない。6町の事業としてウォーキングプロジェクトはあるのでイベントはまだやる予定。



マップで広域交流を

児童虐待発生・通告状況の公表 答弁／条例の見直しも含め研究する

二宮 23年度の虐待件数、通告件数、その要因は。

子育て支援課長

平成23年34件、平成24年10月現在24件、通告はそれぞれ68件、58件。主な要因は、育児の孤立化や若年妊娠、育児能力の不足、複雑な家庭構成など。

町長 個人情報のなかなかな難しい。経路別の受け付け状況などについて、条例の見直しも含め調査研究する。

二宮 近く相談できる人がいるとか少し手助けをし、見守りや支援をして頂くためにも理解を求める啓発がある。周知のためのイベントなどへの取組みを。

子育て支援課長

二宮 志免町児童虐待防止条例制定から7年、社会状況の変化と共に虐待件数も増えている。虐待の発生、通告などの情報を公表する条例の見直しなど、虐待の防止、支援につなげてほしい。

11月が虐待防止推進月間です。子どもの権利の日（11月20日）と合わせ取組みたい。

歯・口腔の健康づくり条例を 答弁／県の条例策定に合せ協議する



児童虐待防止の啓発

二宮 歯科口腔保健の推進に関する法律が施行（23年8月）され、国を挙げて歯科口腔の健康づくりが推進されている。意図は何か。

二宮 関係者の協力を得て総合的に歯科口腔保健を推進する条例は検討されているのか。

健康課長 生涯にわたる健康の保持に大きく関連している。

町長 25年度中に福岡県の条例の助言を受け、協議したい。

二宮 法の理念にのっとった施策を実施することとされているが。

二宮 条例を制定し、実施計画をつくり推めるべきと思う。

健康課長 糟屋地区で志免町だけが、40、50、60、70歳で歯周病検診を実施している。

町長 国、県の方針にそって検討する。

【その他の質問】
●広報しめに公募で若者の企画参加を



二宮 美津代 議員

とり残された図書館の再構築

答弁／図書館検討委員会に諮問する

牛房

町立図書館が誕生して22年、平成3年当時の人口は3万4千人。平成24年現在では1万1千人ふえ4万5千人。更に中学生以下の子どもは8200人を突破し、子どもだちでにぎわう活気ある町へ成長を続けている。町では幼児から読み聞かせを通じ本に親しませ、小中学校では読書タイムを設け心と頭へ栄養と集中力の養成に努めている。しかしせまい昔のままのとり残された図書館にこどもの姿はない。図書館は文化のシンボル、



志免町立図書館

電子書籍、情報化時代にふさわしい機能をもった新しい図書館へ命を吹きこみ再構築を図るべきである。町民の声を十分に聞き、配慮していくべきではないか。

町長

なんとかしなければならぬ課題の一つと考えている。ただこれからの図書館の果たす役割や利用する町民の環境の変化など、慎重にしなければならぬ。見直し等については図書館検討委員会に諮問したい。



牛房 良嗣 議員

滞納11億2千万円の対策は

答弁／しっかりした人材配置で取り組む

牛房

平成23年度の滞納額は11億2千万円、内訳は町税3.5億円国保税6.5億円あわせて10億円は職員250人の一年間の給料に相当し、水道料金滞納1億2千万円は上下水道課職員の一年間の給料に相当する大変大きな金額が未収滞納になっている。毎年頑張りますの掛声ばかりで改善の兆しがない。対策は。

町長

税金は行政サービスのための重要な財源。公平性の観点からも毅然とした態度で徴収率の改善に努める。特に昼間と夜間の連携体制、コンビニ収納の徹底など、しっかり人材の配置で取り組む。

牛房

年末から3月にかけては一番来庁者の多いとき、「笑顔の挨拶」と「ぬくもりのある応対」を全職員に徹底しサービスに努めること。

焼却場跡地整備はどうするか

答弁／平成25、26年度に実施予定

丸山

焼却場跡地整備については、長年迷惑をかけた周辺の住民も加わり話し合いが行われている。9月議会で4公民館に約2700万円かけ、太陽光発電を設置することは決まった。整備事業の進捗状況はどうなっているのか。

生活環境課長

再検討をしているので、決定はしていない。

丸山

この公園のコンセプトは何か。

生活環境課長

環境を配慮した公園、学習できる公園。

丸山

計画には小水力発電親水空間がなくビオトープをつくるようになってきている。どうするか。

町長

親水空間は検討したが、高低差があり無理。

丸山

委員からの意見でもある自転車公園はできないのか。また、人工的に蛍水路を設置して管理はどうするか。

町長

委員会に計画を委ねている。運営を含めて提案していただく。



焼却場跡地

丸山

自然の営みは絶えず生可能と言え、再生可能エネルギー特別措置法が本年7月からスタートした。20年間の全量買取制度も始まったが、町として何か話し合ったのか。

生活環境課長

庁舎の屋上やふれあいセンターの屋根等を検討したが、重量や防水等の問題ですぐにはできない。学校施設は検討している。

【その他の質問】
●東日本大震災復興支援の件



丸山 真智子 議員

町長

平成21年11月から跡地整備委員会を10回開催し、全体像等を協議した。本年11月22日に設計内容等の報告を行い、現在、委

スポーツ文化振興基金創設を

答弁／貴重な意見として活かしたい

古庄

国のスポーツ振興基金は総合型スポーツクラブを一ヶ所育成とあるが志免町はしたのか。
又、施策への支援は、国の予算措置、基金、そしてTOO（スポーツ振興くじ）等、手厚く支援されているが、これらの活用、町民への普及啓蒙はやったのか。

社会教育課長

やっていない。

古庄

全国の類似する自治体でのスポーツ振興の予算は、八割が年間5千万〜5億円だが志免町は少ないのでは。

社会教育課長

3千3百万円。

古庄

志免南小ワイルドスポーツでの全国大会出場者に町の支援は。

社会教育課長

支援していない。

古庄

全国レベルで展開している文化活動団体と、それらに対する支援はしているのか。

社会教育課長

把握しているのは、飛龍太鼓やキルト国際大会で決勝進出した方等で、支援はしていない。

古庄

芸文の集いと、伝統行事には要綱を策定して補助をしているが、文化協会への支援も含め全てが冷たく感じる。

教育長

今後研究する。

町長

他町に比べ非常に少ない、数字的にもそう感じる。

古庄

国が「手厚くやって下さい」と、法や計画を作り、金も出す」と言っているのに、アンテナや意識が足りないのか、町の姿勢は非常に希薄な気がする。

国の要請でもあるスポーツ振興計画、そして文化振興プランを策定すべき。

町長

出場者には助成金を出していたが、20年から補助金検討委員会の結論で廃止した。補助金の見直し時に配慮頂くよう言う。貴重な意見として今後活かしたい。



ママさんバレー

老老介護の実態を調査せよ

答弁／今後担当と研究していく

末藤

志免町の老老介護の実態をどのように把握しているか。

福祉課長

老老介護とは核家族や家庭の事情などにより、高齢者が高齢者の介護をせざるを得ない状況のことで、問題点として、特に高齢者の介護者と要介護者のみの世帯の場合、家族が共倒れする可能性や、介護疲れによる虐待等につながるものが問題点として挙げられる。

実態として、介護保険や町の高齢者サービスの申請時や更新時に家族の状況等の聞き取りを行っている。
負担軽減のための介護施策については、配食サービスや

末藤

志免町では老老介護の人たち把握していないということだが把握していないのに対策がとれるのか。
早急に調査して対策を講じるべきではないか。

町長

要援護者の名簿を整理するなかで老老介護等について把握もできると思う。
今後担当とよく研究していきたいと思っている。

末藤

介護ヘルパーの訪問短縮になったが理由は何か。

福祉課長

介護報酬改定によりサービスの提供実態を踏まえるとともに人材の効果的活用をはかり、ニーズに対応したサービスを効果的に行うため国の方で見直しが行われた。

末藤

時間短縮対策がどのようか調査する必要があるのではないのか。

副町長

介護サービスの利用に支障がないか、サービス利用に影響が出ないか聞き取りをしているところです。
サービス利用に支障がでないか注視し独自の調査について検討していきたい。

【その他の質問】
●生活保護費の10%削減でどのような影響が出てくるか
●保護申請の窓口受付のありかたについて



末藤 省三 議員



古庄 信一郎 議員



ヘルパーの訪問介護

から学ぶ

先進地か

委員会
研修報告



京都府亀岡市にて研修

総務文教常任委員会

セーフコミュニティの取組みについて

セーフコミュニティの取組みについて

目的
・セーフコミュニティの概要及び活動について
・セーフコミュニティにおける自主防災組織活動について

日程
・11月6日

視察先
・京都府亀岡市

国内初のセーフコミュニティ認証を機に、安全安心を核とするまちづくりが行われている。セーフコミュニティ

(SC)とは、事故やケガは偶然に起こるものではなく予防することができるといって考え、自治会・学校・行政などが連携・協働して誰もが安全で安心して暮らす事が出来るまちづくりを進めるもの。

スウェーデンを発祥とし世界的に普及活動が行われている。まずいくつかのモデル地区を設定し、順次可能な自治会から推進されて

いる。今回のセーフコミュニティの取り組みは、防災防犯のみならず、町内会活動を中心とした地域や学校などの課題解決への仕組みとして、志免町のまちづくりの手法にも取り入れられることも有り、大変興味深く関心高いものでした。

コミュニティスクール構想について

目的
・スクールマネジメント構想について
・幼保一体運営について

日程
・11月7日

視察先
・久御山町立御牧小学校
現地

久御山町では1つの中学校3つの小学校があり、それぞれ平成20年から今年にかけて「コミュニティスクール推進委員会」【学校運営協議会】が設置されている。垣根を越え、校長(学校)、教育委員会と、地域の住民及び保護者の学校運営

への参画を進め、双方の信頼関係を深めることを目的とされている。次に幼保一体運営では、幼児期から義務教育の15年間を見通した保育・教育の充実を目指し、幼保小中一貫的教育「久御山学園」をスタートさせている。最後に、久御山町立御牧小学校へ現地視察を行いました。「外国語活動を中心としたコミュニケーション」「基礎学力定着へ



英語標示の階段

厚生建設常任委員会

地域支えあい活動の推進

目的
・地域の支えあい活動の推進について

日程
・11月6日

視察先
・東京都中野区役所

東京都中野区では、高齢者・障害者の世帯を緩やかに見守り、必要な時には手を差し伸べる活動を推進する「地域支えあい活動の推進に関する条例」を平成23年4月に制定しています。

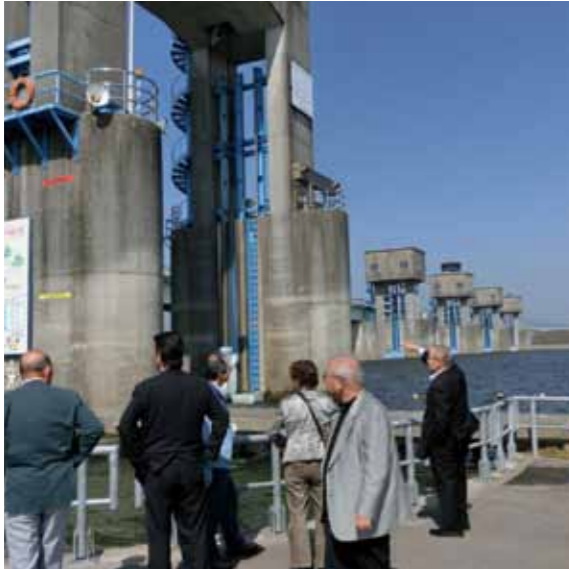
高齢者・障害者・児童その他地域で支援を必要とする区長が認める者の名簿を自治会に提供し、地域で支えあい活動を行ってもらう。名簿登録については高齢者は不同意者を登録しない、障害者を登録する。個人情報保護については守秘義務を規定、30万円以下の罰則規定もある。

地域包括支援センター・区民活動センター

があり、24時間365日地域からの異変通報等の受け付けをしている。区議会でも地域支えあい推進特別委員会が設置されていて、行政と議会が連携して取り組みが進められている。高齢者の名簿登録率67%の高さ、個人情報保護や地域支えあい活動を推進していく上で参考になりました。



東京都中野区役所にて研修



大川ダム視察の様子

筑後大堰(治水・利水)の役割

目的
・大山ダム試験堰水の様子

日程
・10月16日

視察先
・筑後大堰 大山ダム

筑後堰は筑後川の河口から23kmの地点に位置

し、目的は洪水疎通機能の確保(治水)、新規水道水の確保(利水)取水位の安定で農業用水の確保(利水)の3つです。

筑後大堰貯水池から取水された水は福岡県・佐賀県の水道用水、かんがい用水として多くの人々の生活に役立っています。

志免町も福岡導水揚水機場から取水した水を福岡企業団を通じて利用しており、改めてその役割の大切さを実感しました。大山ダムについては工事がほぼ完成し、試験堰水が行われ、来年度より志免町に対して1700t供給される予定です。

議会あれこれ

志免町議会一般会議 報告

テーマ
志免町商工業の状況について。(商工会小島事務局長より説明)

商工会事業

志免町商工会は、商工業の総合的改善・発展を図るとともに、社会一般の福祉の増進に資することを目的とし、国・県・志免町の中小企業施策を実施している。具体的には、金融・税務・記帳・労務・取引・IT活用・講習会の開催・その他経営に関する相談・指導、また、商工会まつり・異業種交流会・街路灯の管理・志免ブランドの開発並びに逸品逸品運動など、地域総合振興事業等を行っている。
※尚、今回の会議にあたり商工会の方針としては、時間の制限もあり、役員との紹介と事業の説明を多くするため、質問・意見は控えられました。

日時	平成24年10月23日(火)
会場	志免町役場4階 第1・2委員会室
参加数	15名

No.	質疑・意見	回答・対応
1	町補助金1,400万円で補助金14%と捉えたいが。	街路灯補助金は特別会計としているが合算すると1,400万円です。
2	街路灯(防犯灯)が腐食・腐敗してきているという課題を今後どのように考えているか。	289本の街路灯を維持管理、一部が腐り、今回160万円～180万円の予算を立て取り換えている。今後補修費を検討中。
3	商工会青年部と女性部の中の提案公募事業は、どういったことが行われているのか。	志免町としては、毎年検討はしているが、提案する内容は決まっていない。
4	情報化とか金融、税務はどのような相談があり、指導されたのか。	情報化とはフェイスブックとかホームページを作りたいというもの。金融・税務は金融円滑法の対応、県のセーフティネット、日本政策金融公庫の融資の相談。
5	経営一般についてどのような質問があり指導されたのか、経営革新についても。	・経営一般では経営指標を見る。各種巡回において、税理士等の相談、店舗診断。 ・経営革新は、3年、5年計画で新たな事業の展開を促進。県の補助金が受けられたり、融資が有利で年間3～4件承認されている。
6	その他で、どのような指導をされその効果とか結果は。	その他は経営改善普及事業・各種共済、取引関係の調整。女性・青年部の打ち合わせ、共済の推進も財産保全の形で取り組んでいる。
7	補助金に対する会員数の比率は他町と比較してどうか。	詳しくは調べていない。
8	東公園台など買い物で困っておられる方がいる「商・工・農」とある。ビジョンは。	空き店舗対策、高齢社会に対してどういうサービスをするか勉強会に行くなどして今検討中。
9	町に2,000万円の基金があり6,000万円の融資枠がある。保証料保証制度・利子保証制度また、100万円以下を気軽に借りられるプロパー融資などの活用方法を研究され、請願等を出されては。	25年3月でセーフティネットも切れる。その後は厳しい状況になるかと思うのでありがたい。商工会の金融委員会で検討させていただく。
10	・商工会の集団検診の実施、費用のことを知りたい。 ・メタボ検診・特定検診・特定保健指導になっているのか。	・商工会単独事業で10月29～30日、青洲会病院で実施。90事業所から397人が受診。 ・労働安全衛生法の定めによる健診である。

※詳しくは志免町HPで紹介しています。

昨年中は私どもの議会活動に対し、皆さま方のご理解とご支援を賜り、議員一同心から感謝いたしております。
昨年は議会報告会、一般会議開催と開かれた議会を目指すため議会改革に取り組んできました。
新しい年を迎え、さらなる議会改革に取り組む、町民の皆さまと共に行政と力を合わせて、住みよい町となるよう、誠心誠意努力する覚悟であります。
今後ともよろしくお願い申し上げます、同時に町民皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りして、ごあいさついたします。



議長
大林 弘明

開かれた議会を
めざして

地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い 条例を改正するもの

条例名	改正概要	採決結果
志免町議会委員会条例	1. 議員は少なくとも一の常任委員となるものとする。 2. 常任委員及び議会運営委員は会期の始めに議会において選任する。 3. 特別委員は議会において選任し、委員会に付議された事件が議会において審議されている間在任する。 政令で定める日から施行	全員賛成
志免町議会会議規則	本会議においても委員会同様、公聴会開催や参考人の招致ができるようになった。 公布の日から施行	全員賛成
志免町議会政務調査費の交付に関する条例	「政務調査費」を「政務活動費」に改める。 政令で定める日から施行	全員賛成
志免町議会基本条例	政務調査費が政務活動費に名称を変更。 公布の日から施行	全員賛成